

平成28年度函館市地域包括支援センター事業評価 評価結果

函館市地域包括支援センターゆのかわ

1. センターの概要(平成28年4月1日現在)

センター所在地	函館市湯川町3丁目29番15号 介護老人保健施設ケンゆのかわ内			担当圏域	東央部第1
圏域の人口	30,566人	圏域の高齢者人口	10,640人	圏域の高齢化率	34.8%
職員数	保健師 1人, 社会福祉士 2人, 主任介護支援専門員 2人, その他 6人(配置基準職員 6人)				

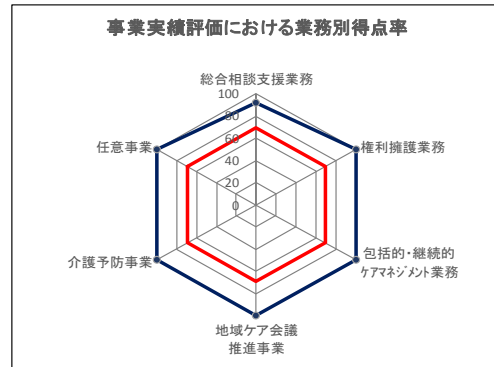
2. 事業内容評価(配置基準職員による自己評価に基づく評価)

センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> 事業内容評価の評価項目について、配置基準以外の職員も含め、全職員で確認し意識付けを行うことで、業務全般の理解を深めることができた。 業務の法的根拠やセンターの運営にかかる費用などをセンター内で再確認し、センター運営の基本方針の理解に努めた。 新設センターとして、一つ一つの業務を丁寧に確認しながら取り組んだことで、業務にかかる時間が増えたが、達成感を得られている。今後は、業務の効率化を図っていきたい。 出前講座や講師派遣等の地域へ出向く業務については、開催曜日に関わらず積極的に受け入れ、実施機会を多く作ることで、職員のスキルアップにつながっていると感じている。

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> センター内での質の高いミーティングの実施により、十分なチームアプローチ、さらには職員のスキルアップが図られていると評価する。また、職員間のフォロー体制も整えられており、センター全体の意識の統一など一体感が感じられる。 健康づくり教室について、地域とのネットワーク構築の基盤となる重要な業務であると認識しており、職員間のバックアップ体制も整えられていると評価する。今後は、業務のバランス、マンパワーを考慮し、より効率的に活動できるよう期待する。 市との役割分担やセンターとしてどうあるべきかの視点を持ち、積極的に市とコミュニケーションを図っていることを評価する。

3. 事業実績評価(実績に基づく量的評価)

評価	評価基準(得点率)
A	A 期待以上(87%以上)
	B ほぼ期待どおり(69%以上87%未満)
	C 改善を要する(50%以上69%未満)
	D 根本的な改善を要する(50%未満)



センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> 事業実績評価の評価項目について、全職員で共有することで、センター業務の取り組むべき方向性および効率性を意識して進めることができた。 総合相談支援業務について、地域とのネットワークの濃淡があることが課題ではあるが、民生児童委員や町会、在宅福祉委員等へは、個別ケースの支援を通して、顔が見える関係づくりを行うことを意識し、実践できた。 権利擁護業務について、医療機関への相談シートの配布を機に、高齢者虐待に関する出前講座の開催に結びつけることができた。 センター内研修での事例検討では、職員が積極的に取り組んでおり、日々のミーティングの成果であると感じている。

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> 個別ケースの支援や健康づくり教室を地域とのネットワーク構築の基盤とし、地域ケア会議や出前講座の開催につなげるなど、センター独自のスタイルを確立している。 広報・啓発活動においては、対象者に偏りがなくバランスよく取り組んでおり、広報紙をラミネート加工し、関係機関へ掲示を依頼するなどの工夫も積極的に行っていることを評価する。 高齢者虐待防止や消費者被害防止については、より効果的な広報・啓発ができるよう、多様な媒体を活用するなど、工夫して取り組んでいただきたい。 地域ケア会議においては、認知症高齢者の模擬検索をとおして、地域の意識づくりができてきたと評価する。今後は地域住民からの地域課題の吸い上げの実践方法についての検討も深めていただきたい。

4. 運営体制評価

- 3職種における基準を上回る配置や継続勤務年数が長いことなど、センター事業を円滑に実施できる体制が確保されている。
- 現場の要望も踏まえ職員が働きやすい職場環境を整えるなど、適切な業務管理が行われている。
- 外部研修への参加の機会を確保するなど、教育・研修体制を整備している。
- 同一法人のサービス事業者の利用割合は20%未満であり、公正で中立性の高い運営を行っているとして評価する。

5. 総評

センターにおいては、各分野全般にわたってバランス良く事業が実施できており、運営法人も職場環境を整えるなど、その実施体制の充実を図っている。

職員の意識統一やスキルアップに向けた取り組みを戦略的に行い、効果的に各事業につなげているほか、市に対する現場の立場からの提言や他センターへの情報発信を積極的に行っていたらと評価する。

今後は、業務のバランス、マンパワーも考慮し、より効率的に事業を実施していただくよう期待する。